

広島文教女子大学 司書講習「図書館資料論」(古賀崇担当分) レポート課題一覧  
(文面を多少改めた箇所があります)

◆ 2006年度

「検索が支配する民主主義」(『AERA』2006年5月15日号)を読み、図書館における資料の扱い方と、インターネット空間における情報の「現れ方」とを比較して論じなさい。

◆ 2007年度

『朝日新聞』2007年7月24日朝刊 15面(東京本社版)に掲載された時実象一「(私の視点) ウィキペディア 安易な引用はやめよう」を読み、以下の点について論じなさい。

- (1) 従来の書籍としての百科事典と、ウィキペディアとの違いはどこにあると考えられるか。
- (2) 「ウィキペディアを利用はするが引用はしない」とはどのような意味と考えられるか。
- (3) 筆者の主張(5段目の記述)を満たすために、図書館は(特に資料の収集・管理の面で)どのようなことを行うべきだと考えられるか。

◆ 2008年度

以下の文献を課題用に配布します。

名和小太郎「サーチエンジンと表現の自由」(情報論議 根掘り葉掘り)

『情報管理』Vol. 51, No. 4 (2008年7月号), p. 294-295.

(掲載元: <http://doi.org/10.1241/johokanri.51.294>)

この記事のポイント(問いかけ)の一部は、以下の通りと思われます。

「グーグル(サーチエンジン)での検索結果の表示順位を左右する「ページランク」のしくみは、どのようなかたちで正当化できるか。「ページランク」は憲法上の「表現の自由」によって保護されるとしても、グーグルは「ページランク」を意図的に操ってよいのか。また、ページランクはアルゴリズム(数学的な計算手法)に基づき客観的なものである、というグーグルの主張は正当と言えるか。」

この記事を読み、以下の点について論じなさい。

1. グーグルによる情報の表示のしくみと、公共図書館における資料(主に紙のもの)の提供のしくみについて、どのような共通点・相違点があると思いますか。特に、公共図書館での選書の機能に注目して論じなさい。
2. 記事の2ページ目、右段(その三)にある「グーグルはすでに公共財的な役割を發揮している」とはどのような意味だと考えますか。公共図書館の機能全体と比較して論じなさい。

#### ◆ 2009 年度

以下の文献を課題用に配布します。

森健「Web のなかの民主主義」(連載、全 3 回)

- 第 1 回「ウェブがもたらす情報の未来は明るいか」
- 第 2 回「ウェブ仲間は同じ価値観がお好き」
- 第 3 回「情報の宝庫」に振り回されるな」

『月刊連合』2007 年 3・4・5 月号、全 6p.

これを読み、以下の 3 点について論じなさい。

1. 第 1 回の最後に「現実の世論を映し出すには、ウェブにはまだ大きな情報の偏差がある」とありますが、具体的にはどういうことか。森氏の記述内容(全 3 回分)に基づき、簡潔にまとめなさい。
2. 第 3 回の後半にある「自分にとって必要な情報だけを効率的に選別・収集する…機能」について、どのような利点と欠点が考えられるか。森氏の記述を踏まえ、あなたの考えをまとめなさい。
3. 第 3 回の最後に「人は他者の意見に触れることで自らの考えを育んでいく」とありますが、この点について図書館はどのような形で貢献できると考えられるか。特にコレクション構築の観点から、あなたの考えをまとめなさい。その他の側面(各種の図書館サービスなど)を含めても結構です。

#### ◆ 2010 年度

以下の文献を課題用に配布します。

福嶋聡「魅力ある書店の棚づくり」『図書館雑誌』2005 年 3 月号, p. 162-164.

(のち、福嶋聡『希望の書店論』人文書院, 2007, p. 71-78.に再録)

これを読み、以下の点(1., 2.(a), 2.(b))について論じなさい。

1. 書店において「それ[=書籍]が書店店頭で読者の目に触れ、読者の手に取られて初めて評価が下される、言い換えれば需要が発生する」(p. 164 左下)とはどういうことか。図書館での本の貸し出しと対比させて説明しなさい。
2. 最後に、福嶋氏は「読者の最新の動向、志向を把握し、まず選書に反映させる」ために、図書館員に対し書店に足を運ぶよう呼びかけている。では、
  - (a) 具体的にはどのような形で、「読者の最新の動向、志向」に基づく選書への反映が可能と考えられるか。授業の内容も踏まえ、あなたの考えを論じなさい。
  - (b) 一方、「読者の最新の動向、志向」ととどまらないところで、図書館での資料および「棚づくり(資料の配列の仕方)」の価値はどのような点にあると考えられるか。福嶋氏の記述ならびに授業の内容も踏まえ、あなたの考えを論じなさい。

◆ 2011 年度

以下の文献<a><b>を課題用に配布します。

武田徹『殺して忘れる社会：ゼロ年代「高度情報化」のジレンマ』（河出書房新社, 2010）

より、

<a> 「「忘れない社会」のために」 (p. 224-227.)

<b> 「過去に向けた技術開発」 (p. 243-245.)

(それぞれの初出は本文を参照)

これらを読み、以下の点 (1., 2.) について論じなさい。

1. 武田氏は<a><b>それぞれで、以下のように述べている。
  - ・ 「可能な限り網羅的に文化資産を保存し、公開し続ける一。それは多様な価値観を擁し、批判精神を持った未来社会を導くために、今できることをしておく政治的な選択なのだ。」 (p. 226)
  - ・ 「過去の文化に触れることが人間にとって至上の幸福である」 (p. 245)この 2 点はどのようなことを意図しているといえるか。2 点の共通点・相違点を意識して、あなたの考えを述べなさい。(ヒント：前者は「社会」、後者は「人間」を意識すること。)
2. <a><b>を通じ、本・音声・動画などのコンテンツをめぐる技術のあり方について、特に「長期的な利用の可能性」をめぐって、あなたの考えを述べなさい。特に、自分の体験を交えて記述することを推奨します。